

大井川地区民有林直轄治山事業

当地区は、静岡県中部、大井川上流部（静岡市）及び榛原川上流部（川根本町）に位置。高標高で気温の較差が大きいほか降雨量も多く風化侵食が顕著。中央構造線、糸魚川－静岡構造線に挟まれており、脆弱な地質と急峻な地形のため、4千を超える崩壊地が存在。

当地区の荒廃地の復旧対策は、規模が著しく大きく、厳しい施工条件の下、高度な技術を必要とすることから、静岡県等の要望を受けて、昭和41年度より民有林直轄治山事業に着手。平成13年度には榛原川区域（川根本町）を直轄施行区域に追加。

荒廃状況



上千枚

東沢



ホ一キ薙

【事業計画期間】

昭和41年度～令和12年度（65年間）

【予算措置状況】

全体計画額	: 36,927百万円
R5当初予算	: 390百万円
R5補正予算	: 420百万円
R6当初予算	: 345百万円
R6補正予算	: 360百万円
R7当初予算	: 350百万円
（R7末進捗見込	84.6%）

【主要工事計画】

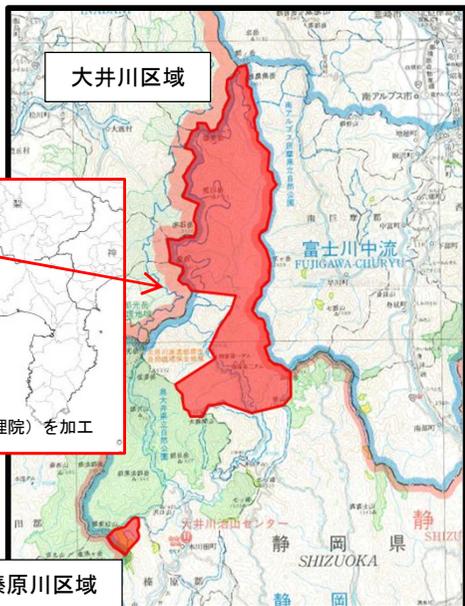
溪間工	288 基（232.5基）
<R7施工予定	1.5基>
山腹工	253.7 ha（169.9ha）
<R7施工予定	1.69ha>

注：（ ）内は施工済数量

【主な保全対象】

人家	220 戸
国県道	20.2 km
農地	16.3 ha

位置図



大井川区域

榛原川区域

出典：白地図（国土地理院）を加工

復旧状況



上千枚

山腹工、溪間工等により安定化を図っている。



ホ一キ薙